

一般社団法人日本色彩学会 2020年度（令和2年度）第1回理事会 議事録

【日時】 2020年6月6日（土） 13:00 ～ 18:10

【場所】 Webex 利用による遠隔会議

【出席者（敬称略）】

会長 高橋 晋也

副会長 篠田 博之、眞鍋 佳嗣

理事 岩井 彌、喜多 英雄、櫻井 将人、下川 美知瑠、須長 正治、
西省吾、平井 経太、山内 泰樹

監事 東 吉彦、鈴木 敬明

オブザーバー 石原 久代（東海支部長）、石田 泰一郎（関西支部長）

事務局 八木橋 生輔

【欠席者（敬称略）】

河本 健一郎

【配布資料】

- ・ R2-1-1_（一社）日本色彩学会 2019年度第6回理事会議事録（案）
- ・ R2-1-2-1-1-1_総会案内 2020_高橋修正
- ・ R2-1-2-1-1-2_日本色彩学会総会 2020_進行および台本（抜粋）
- ・ R2-1-2-1-1-3_式典 式次第_第51回全国大会案
- ・ R1-1-2-1-1-4 総会資料 2019
- ・ R2-1-2-1-2-1_議決権行使書 2020_高橋修正
- ・ R2-1-2-2-1-1_① 他学会の選挙管理委員の任命方法
- ・ R2-1-2-2-1-2_② 一般社団法人日本色彩学会 役員および代議員選挙規程改定案 20200606
- ・ R2-1-2-2-1-3_③ 役員の推薦候補者選定に関する内規
- ・ R2-1-2-2-2-1_④ 一般社団法人日本色彩学会全国大会規程案 20200606
- ・ R2-1-2-2-2-2_⑤ 一般社団法人日本色彩学会研究会大会規程案 20200606
- ・ R2-1-2-2-3-1_一般社団法人日本色彩学会 印章管理規程 20200603 見え消し
- ・ R2-1-2-2-3-2_印章登録台帳 20200603
- ・ R2-1-2-3-1-1_日本色彩学会賞推薦文 2
- ・ R2-1-2-3-2-1_論文賞_奨励賞審査報告書・提出
- ・ R2-1-2-6-1-1_辞令の手順案
- ・ R2-1-2-6-2-1_ヒューマンインタフェース学会「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2020」（回答済）
- ・ R2-1-2-6-2-2_日本オプトメカトロニクス協会「画像情報処理と機械学習」技術講座（回答済）
- ・ R2-1-2-6-2-3_協賛依頼書_第22回日本感性工学会大会（回答済）
- ・ R2-1-2-6-3-1_2019年度下期 JIS 印税支払明細書
- ・ R2-1-2-7-1_(0520)名誉会員推薦書（林英光先生）
- ・ R2-1-2-7-2_(0520)名誉会員推薦書（山羽和夫先生）

- ・ R2-1-2-8-1_理事会資料 2020, 第1回(個人情報削除)
- ・ R2-1-2-8-2_学生グループ入会者名簿(須長研究室)
- ・ R2-1-2-8-3_学生グループ入会者名簿(堀内・平井研究室)
- ・ R2-1-2-8-4_学生グループ入会者名簿(溝上研究室)
- ・ R2-1-2-10-1-1_色彩教材研究会メール
- ・ R2-1-2-10-1-2_遠隔会議ツール検討
- ・ R2-1-2-10-2-1_「アフターコロナと色彩(仮称)」提案書
- ・ R2-1-3-1-1-1_第1回理事会資料(2020年6月6日)
- ・ R2-1-3-2-1-1_全国大会第4回実行委員会議事録
- ・ R2-1-3-2-1-2_全国大会第5回実行委員会議事録
- ・ R2-1-3-2-1-3_全国大会第6回実行委員会議事録(案)
- ・ R2-1-3-3-1-1_令和元年度第5回役員会 20200321 議事録(案)
- ・ R2-1-3-3-1-2_一般社団法人日本色彩学会関西支部 2019年度支部総会議事録案

高橋会長が議事進行役を務め、2020年度(令和2年度)第1回理事会の成立と開会を宣した。
(理事:出席11名/監事:出席2名。オブザーバ2名)

議事に先立ち、新支部長から挨拶があった。

【議事】

1. 議事録確認

2019年度第6回理事会議事録(案)(資料R2-1-1)を確認、満場異議なくこれを承認した。

2. 審議事項

2-1 総会関連事項

- ・ 総会議題および資料の確認

資料R2-1-2-1-1-1~R2-1-2-1-1-4に基づき総会資料を確認した。コロナウィルスの影響でWeb開催となり、例年とは開催方式が異なるので、流れ、役割の確認を行った。財務:西理事、監査:東監事が報告予定。議決権の事前利用を呼びかけており、各議案可決に必要な賛成票は事前に集まっている想定。当日の質問は挙手機能を使用。議決権未行使の代議員には「異議ありませんか」と呼びかけ、反応がないことを確認して議決に代える。これに伴い、総会開催案内の文言を一部(議決方法、開催時刻)修正することで承認された。

総会資料については、総会の時間(~14:15)、予算案の見直し結果の反映、学術コラージュ研究助成に関する記述を助成事業という新項目を立てて追加する。報告事項(7)を新設し、学術コラージュ研究助成の採択者を記載する。6月9日頃までに修正をする。

また、式典の式次第について確認した。開催は、総会の直後に実施することを確認した。

- ・ 議決権行使書

高橋会長より、資料R2-1-2-1-2-1に基づき、議決権行使書について説明があった。オンライン会議なの

で、それに伴う表現の変更がある。

2-2 規程改正

・役員および代議員選挙規程

高橋会長より、資料 R2-1-2-2-1-1、 R2-1-2-2-1-2 に基づき、他学会での任命方式を参考にした上で、選挙管理委員の任命方法の規定文と開票手続きの規定文の変更について提案がなされ、文言の一部修正（開票について「原則として」を削除）の上、改正案が承認された。

また、役員の推薦候補者選定に関する内規が提案され、承認された。これにより、理事候補者を支部からも推薦できるようなる。次回の選挙から適用する。

・全国大会規程および研究会大会規程

高橋会長より、資料 R2-1-2-2-2-1、 R2-1-2-2-2-2 に基づき説明があった（以前は両者が単一の規程に記載されていた）。各支部の輪番制による実行委員会担当、実行委員会の組織について明記された。両規程とも承認され、本日付けでの制定とした。

・印章管理規程

喜多理事より、資料 R2-1-2-2-3-1、 R2-1-2-2-3-2 に基づき、規程の対象印を実印に限定し、その他の印章については簡易的な運用とする旨、説明があり、改定が認められた。

2-3 表彰関連事項

・学会賞

眞鍋表彰委員長から資料 R2-1-2-3-1-1 に基づき説明があり、第 24 回日本色彩学会賞の候補として、辻 栞之氏が推薦され、満場異議なくこれを承認した。

・論文賞および研究奨励賞

眞鍋表彰委員長から資料 R2-1-2-3-2-1 に基づき、候補論文の決定プロセスが説明され、2019 年度の論文賞の候補として日本色彩学会誌 Vol.43 No.4 に掲載された中島由貴氏、何水蘭氏、湊田隆義氏「手の肌色の見えに対する照明光とネイル色の影響」、研究奨励賞の候補として COLOR Research and Application Vol.44、 No.2 に掲載された「Correspondence between colour and odour for women in pre-menopause and post-menopause」の著者である Iriguchi 氏が推薦され、満場異議なく承認された。

また、文部科学省若手科学者賞の学会推薦者について例年研究奨励賞の受賞者としてきたが、今回は論文賞受賞論文の筆頭著者である中島氏が同賞の年齢規定を満たすため優先して推薦することを承認した。

・第 51 回全国大会奨励賞審査委員会

今回は大会の開催が Web 形式で、本来の意味での「発表」とは言えないため、奨励賞と名称変更する。5 名の審査員が、発表論文の審査により 18 件から 8 件程度に絞ったうえ、発表資料を審査し、最終的に 3、4 件の受賞者を選出予定。

2-4 事業関連事項

・第 51 回全国大会について ⇒ 議題取り下げ

2-5 財務関連事項

・2020 年度予算

審議事項 2-1 の総会資料の確認で指摘された見直し事項を反映させることを再度確認した。

2-6 総務関連事項

- ・辞令の手順案について

櫻井理事から、資料 R2-1-2-6-1-1 に基づき、手順案について説明があった。就任承諾書を取る完全手続きの対象は役員（理事、監事）とする。支部長、研究会主査、代議員、支部役員、各種委員会の委員長及び委員については就任承諾書を取らず、委嘱状の発行のみとする。委嘱状は「印章省略」で発行する。

さらに各委員会の委員リストを作成する（表彰委員会は除く）。委嘱状のサンプルを回覧する。

- ・協賛依頼

櫻井理事より、資料 R2-1-2-6-2-1~3 に基づき、協賛依頼について説明があり、満場異議なく承認した。

- ・2019 年度下期 JIS 印税支払明細書

櫻井理事より、資料 R2-1-2-6-3-1 に基づき、印税振込の報告があった。

2-7 名誉会員候補者の提案

高橋会長から、資料 R2-1-2-7-1, 2 に基づき、名誉会員推薦について説明があり、2 名の候補者について満場異議なくこれを承認した。最終的には総会で承認される。

2-8 入会審査

高橋会長から、資料 R2-1-2-8-1-4 について説明があった。正会員 11 名、学生会員 6 名、学生グループ会員 8 名が新会員として加入、個人会員 51 名、賛助会員が 3 件退会したことが報告された。入会者については満場異議なくこれらを承認した。

2-9 理事会開催日程

6 月 27 日の式典終了後（15：00～16：00）で予定。

2-10 その他

- ・色彩教材研究会から Zoom での研究会開催に関する支援の依頼

眞鍋学術委員長から、資料 R2-1-2-10-1-1, 2 に基づき説明があった。次年度に向け Zoom 等会議システムの追加導入に関して継続検討する。当面の対応としては、各支部・研究会で個人契約したツールを使用してもらい、経費の計上を認める。その際、領収書（カード明細）とともに利用実績を確認できる資料の提出を求める。

- ・日本色彩学会 YouTube チャンネルの作成について（平井理事）

平井理事から、全国大会では YouTube チャンネルを作成し、動画配信するとの報告があった。将来的には、同チャンネルの活用範囲を広げていくことも期待できる。

- ・下川理事からの提案

下川理事から、新企画に関して資料 R2-1-2-10-2-1 に基づき、説明があった。

研究会大会、ICD に繋がる企画を議論できるようなフリートークの場を全国大会（おそらく二日目）で設ける方向で、実行委員長等に連絡を取る。

3. 報告事項

3-1 財務報告

- ・ 2019 年度決算および監査報告

2020 年の財務状況について資料 R2-1-2-1-1-4 を用いて、西理事から報告があった。

また、2019 年度決算について西理事から資料 R2-1-3-1-1 を用いて報告があり、その上で東監事から監査報告がなされた。適正に財務処理がなされていることが報告されたが、近年の資産の推移を考えると、学会の存続自体が危ぶまれる状況にもなり得ること、時代に見合う新しい学会運営の方針等が求められることが指摘された。

3-2 委員会報告

- ・ 第 51 回全国大会実行委員会

篠田理事から、資料 R2-1-3-2-1-1~3 に基づいて報告がなされ、ラボカタログが 20 件以上、オンライン交流会の検討がなされているとの報告があった。ウェブでの公開方法等について、実行委員会で確認する。

- ・ 編集委員会

編集委員会を 6 月 7 日に開催予定である。新委員は現在選定中。次回理事会で承認を依頼する予定である。研究会大会の告知は次号に掲載予定。

3-3 支部報告

- ・ 関西支部

石田支部長から、資料 R2-1-3-3-1-1~2 に基づき、関西支部令和元年度第 5 回役員会議事録並びに関西支部 2019 年度支部総会議事録（メール審議）が報告された。

- ・ 関東支部

東支部長から、資料 R2-1-3-3-2-1 に基づき、総会議事録が報告された。参加者 43 名（Web 会議）。

- ・ 東海支部

石原支部長から、総会が WebEx で 4 月 4 日に開催された旨、報告がなされた。

3-4 その他

特記事項なし。

以上、議題のすべてを終了したので、今回で退任する須長理事、喜多理事からの挨拶の後、閉会を宣した。